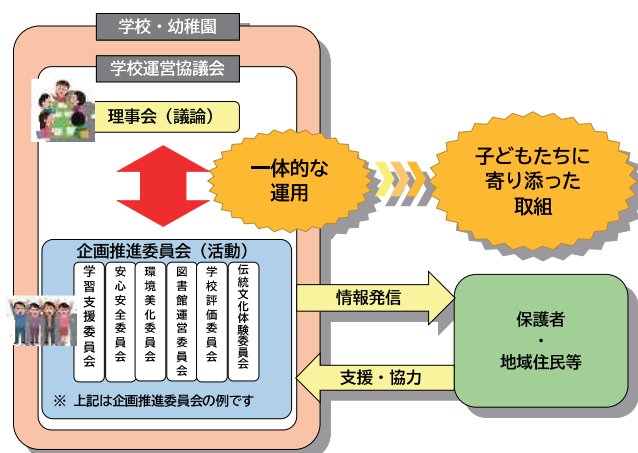


地域社会で子どもたちを豊かに育むために ～「学校における働き方改革」も踏まえて～

本市では、学校運営協議会が制度化された平成16年度から学校運営協議会の設置を進め、令和6年度、全ての学校園に設置が完了したところです。そのような中、学校運営協議会に関わる皆様におかれましては、日頃から取組の企画運営等に主体的かつ積極的に参画いただき、心から感謝申し上げます。学校運営協議会で何よりも大切にしたいことは、地域と保護者、学校が「地域で育てたい子ども像」等を共有し、それぞれの立場で協働（地域の方は地域行事で、保護者は家庭で、学校は教育活動で）して、子どもたちの学びと育ちを支えていくことです。

今後とも、学校・家庭・地域の相互の絆や信頼をもとに、社会全体で子どもを育む「子どもまんなか社会」の実現に向け、学校運営協議会の更なる取組の推進を図ってまいります。

また、「学校における働き方改革」を推進し、教職員が健康で生き生きと働くことのできる環境づくりを通して、身体も心も満たされた状態で、日々笑顔で子どもたちと向き合い、教育の質のより一層の向上を目指すための環境づくりに努めてまいります。



～子育て・教育環境日本一のまちづくりを目指して～



明治維新による急激な人口減少で、都市存亡の危機に直面した京都の先人たちは、自らの手で日本初の学区制小学校「番組小学校」を創設しました。

そんな「公を自ら担い、共助・互助でまちをつくる」という京都の町衆の伝統と心意気をしっかりと受け継ぎ、全国に先駆けて「学校運営協議会」の設立が進み、現在、全ての市立学校・園で活動が展開されていることは京都の誇りです。歴史や文化、自然などの学校や地域の特性を

生かし、地域や保護者の皆様と教職員が一丸となって子どもたちを育むお姿は、私が掲げる「新しい公共」そのものです。改めて深く敬意を表し、感謝申し上げます。

一方、全国的な人口減少や少子化は京都も例外ではなく、一部地域では担い手の減少など疲弊する姿も見られます。本市としても「古きをいつくしみ、新しき世を切り拓く」との方針で、受け継がれてきた京都の素晴らしい文化と伝統を大切にしながら、多才な人々が集い、誰もがワクワクすることができる、突き抜ける「世界都市京都」を実現してまいります。変わらぬ御支援と御協力をお願い申し上げます。

京都市長

松井 秀治

地域社会で子どもを育む実践の輪が広がっています

【御所南小学校】 ウィンターカレッジ

御所南コミュニティ（御所南小学校運営協議会）では、6つの部会（企画推進委員会）が中心となり、PTAや地域ボランティア、消防署、警察署関係者等、約100名の方々から協力を得て、様々な体験講座を企画・運営する「ウィンターカレッジ」を開催しています。

【参考ポイント】

「教育課程に位置づけて実施しています」

「子どもたちが地域に関心をもち、さらに地域を知り、愛し、地域に住む一人として自分のできることを自分で考えて自分から動ける子に育ってほしい」という学校の願いのもと、教育課程に組み込むことで、授業とのつながりを強く意識した取組となり、持続的な活動につながっています。



図書館部会による読み聞かせ

【参考ポイント】

「理事会と企画推進委員会を同日に開催して連携を図っています」

理事会と企画推進委員会を同日に開催することで、間をおくことなく理事会の議論と企画推進委員会の活動を意識的につなげ、取組の目的をしっかりと共有したうえで、連携を図ることができ、学校教育目標である「感じるつながる自分から 未来を切り拓く御所南の子ども」の実現に向けた取組の企画・運営等を理事や企画推進委員、地域ボランティアの方々と一緒に進めています。



福祉部会による手話学習

【南大内小学校】 安心・安全マップ作り

東寺が校区内にある南大内小学校では、子どもたちが、「南海トラフ大地震」について調べたことを機に、古い町並みが残る自分たちの町は災害に強いのだろうかという疑問を持ち、話し合いを始めました。その一環として、学校運営協議会と連携し、「守ろう南大内」をテーマとした「安心・安全マップづくり」に取り組み、9年目を迎えました。毎年子どもたちの気付きには変化が見られます。

【参考ポイント】

「地域・保護者・行政の方々と学校が役割分担し、実際に地域を見て回りました」

総合的な学習の時間において、防犯・防災・交通安全の3つの視点で、子どもたちと地域ボランティア、保護者、警察署、消防署等の方々が地域を見て回り、子どもたちが危険だと感じた箇所を大人から、どのような対策をしたらよいか等のアドバイスをもらいながら、「安心・安全マップ」の作成を進めました。



地域を見て回っている様子

【参考ポイント】

「子どもたちの地域安全に対する意識の向上につながっています」

「安心・安全マップ」を地域や保護者、行政の方々等に説明する「報告会」を実施し、子どもたちの学びと地域の安心・安全につながっています。また、能登半島地震が起こったことで、より災害を身近に感じた子どもたちは「下級生にマップを共有したい」等、自分たちができることによりしっかりと取り組もうとする姿勢を見せてくれました。



報告会の様子

令和5年度 コミュニティ・スクール研修会

是非、活動の
参考に！

令和6年2月13日に開催しました「令和5年度 コミュニティ・スクール研修会」の内容について、以下の二次元コードより閲覧いただけるようにしております。

(本動画は、本市の学校運営協議会の理事・企画推進委員向け研修資料であるため、限定配信としています。)

【生涯学習部】

「地域学校協働活動の『協働』とは？」

ココがポイント

- ★理事会において「地域でどのような子どもを育てるのか」、「何を実現していくのか」という目標や取り組み内容を議論し、地域と学校が共通の目標を持つことが大切です
- ★地域と学校が共通の目標を持ち「役割分担」をしながら、それぞれが「主体的」に取り組むことで、子どもの学びや育ちがより効果的に進められます。

二次元
コード
未掲載

生涯学習部

【桂坂小学校】

「地域保護者で子どもを育む協働活動 ～PTAフェスティバルを通して～」

ココがポイント

- ★地域と学校が共通の目標を確認したうえで、学校運営協議会に企画推進委員会を立ち上げ、従来からの取組を、領域毎に整理するとともに、地域と学校との役割を明確にして、それぞれが主体的に活動を進めています。
- ★学校運営協議会の存在を地域の方々に広く知っていただくために、自治会の広報誌で、学校運営協議会の組織を改編したことや活動を取り上げていただく等、周知活動を積極的に行っています。

二次元
コード
未掲載

桂坂小学校



【西ノ京中学校】

「チーム西ノ京を支える縁の下の力持ち 学校運営協議会」

ココがポイント

- ★学校運営協議会において、年度当初に年間の取組について話し合いのうえ年間計画を作成し、年間を通して、テスト前学習会のような「学習支援」や、草引きや花の苗植えといった「環境整備」に地域の方々が参画いただき、「学校教育目標の実現」はもとより、「学校における働き方改革」にも繋がる取組を展開しています。
- ★学校評価アンケートの結果をもとに、学校運営協議会で議論し、そこから見える課題に向き合った取組を進めています。

西ノ京中学校にとって「学校運営協議会」は



理解者

協力者

支援者

類になる縁の下の力持ち

二次元
コード
未掲載

西ノ京中学校

～意見交換会を開催しました～

同じ行政区の参加者でグループを作り、実践発表等を聞いた感想を交流し、その後、各地域（学校運営協議会）において、地域主体で取り組んでいる活動や課題等について話し合いました。



学校運営協議会及び学校評価に関する検証委員会

本市では、学識経験者や保護者、市民公募委員などの外部委員が第三者的な視点で検証する「学校運営協議会及び学校評価に関する検証委員会」を設置し、本市の学校運営協議会や学校評価の充実に向け、その取組を検証いただくとともに、実際に学校現場を訪問・見学いただき、よりよい教育実践に向けた助言を頂戴する等、取組の改善につなげています。

主な御意見

- ・ 学校訪問（元町小学校、向島東中学校）を通じて、学校の頑張りを見ることができた。その上で、地域や近隣の学校同士の連携が必要だと感じた。
- ・ 様々な地域がある中で、学校や地域の実情に沿った学校評価がなされているかどうかが大切。
- ・ 学校運営協議会の立場でも生徒指導について考えることが大切。



学校訪問（元町小学校）



学校訪問（向島東中学校）



検証委員会会議の様子

正親小学校、東総合支援学校が教育功労者表彰を受賞！！

正親小学校運営協議会

ここが評価されました！



防災をテーマとした
地域内オリエンテーリング

地域や家庭との連携を礎に、子どもたちの主体性を高め、地域や保護者に信頼され、共に歩む学校づくりを推進しています。そのような中、勤務時間内に企画推進委員会を開催し、教職員が学校運営協議会に参加しやすい環境づくりを行う等、学校における働き方改革を踏まえた取組を展開しています。

また、これまではPTAが主体であった取組を、学校運営協議会の取組に位置付け、年度を越えてもスタッフが確保できる体制を整える等、より一層活動しやすい持続可能な体制づくりを進めています。

東総合支援学校運営協議会

ここが評価されました！



学校の魅力紹介動画
360度で見る東総合ムービー

地域や保護者、学識関係者の参画によって児童生徒の学習の幅を広げ、学校での学びを地域で生かせるように、学校運営協議会「地域連携プロジェクト」の計画の下、清掃活動等の地域貢献活動や地域住民との交流学习、地域の施設見学・訪問を通じた体験学習等を実施しています。

また、児童生徒が主体となって学校の魅力を伝える動画を作成し、授業参観等の際に、地域・保護者へ積極的に発信する等、更なる地域との連携を深めるための取組も実践しています。

※教育功労者表彰

本市教育委員会では、昭和24年以来、本市の教育、学術及び文化の振興発展に貢献された個人・団体に対し、教育功労者表彰を行っています。

京都市教育委員会事務局 生涯学習部 学校地域協働推進担当

〒604-8064 京都市中京区富小路通六角下る骨屋之町 549

電話：075-251-0456 FAX：075-251-0449

URL：<http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/page/0000038884.html>

掲載している写真は、令和5年度またはそれ以前のもので、
本文や図には見やすいユニバーサルフォントを採用しています。

